

都心部における新たな都市機能誘導施策（案）

緩和要件イメージ

名古屋市住宅都市局

緩和容積率：～300%

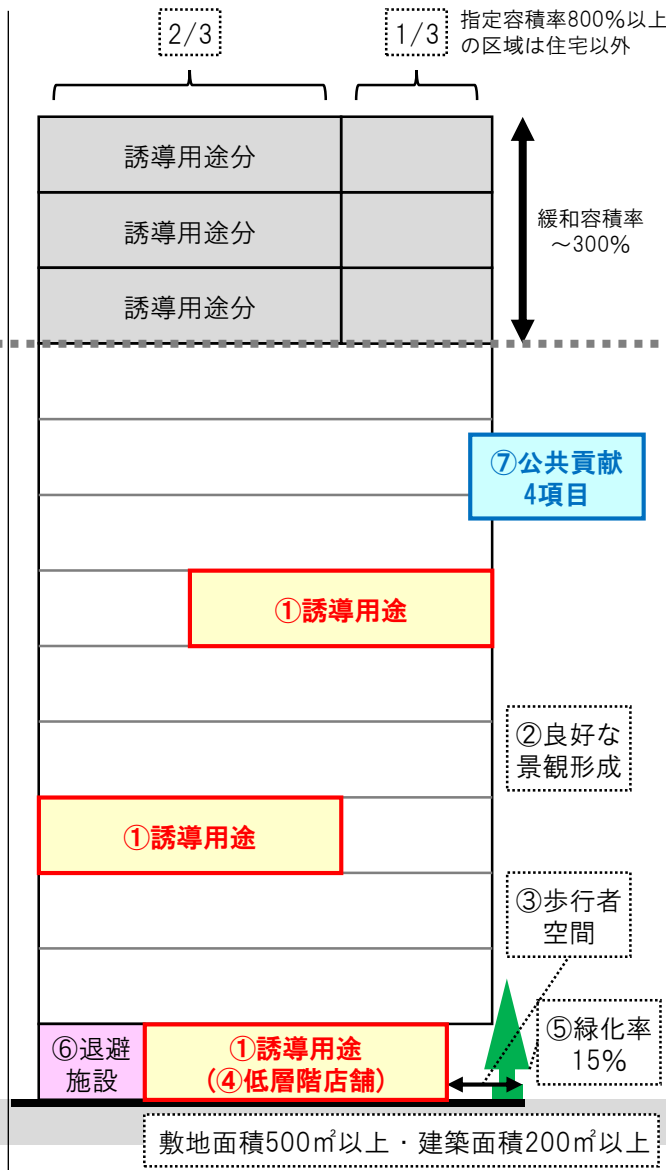
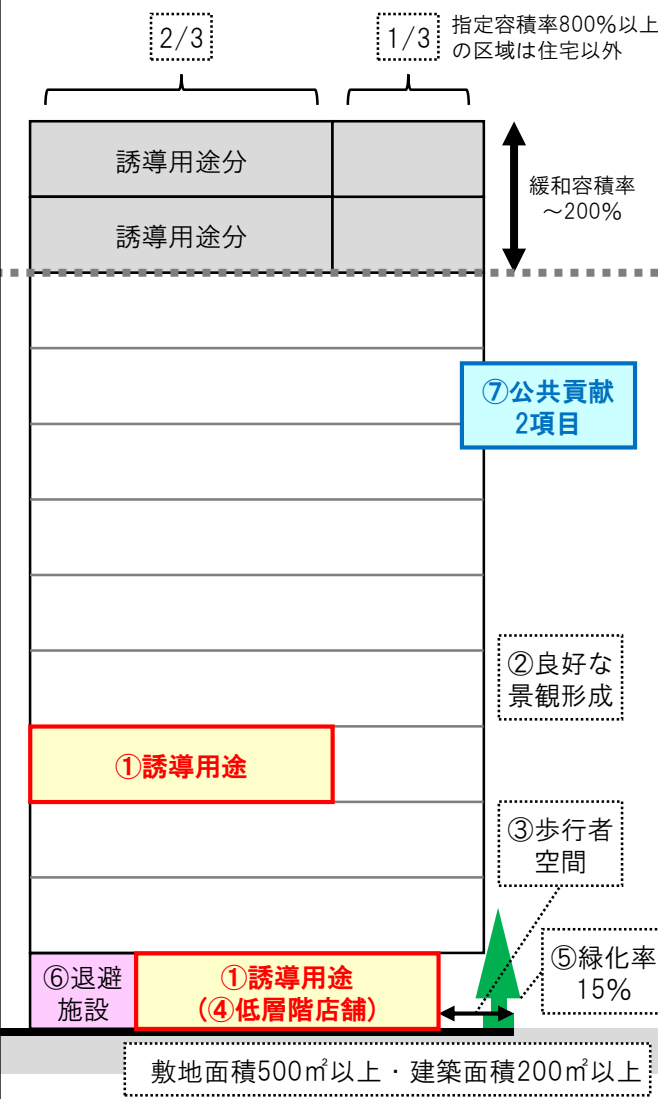
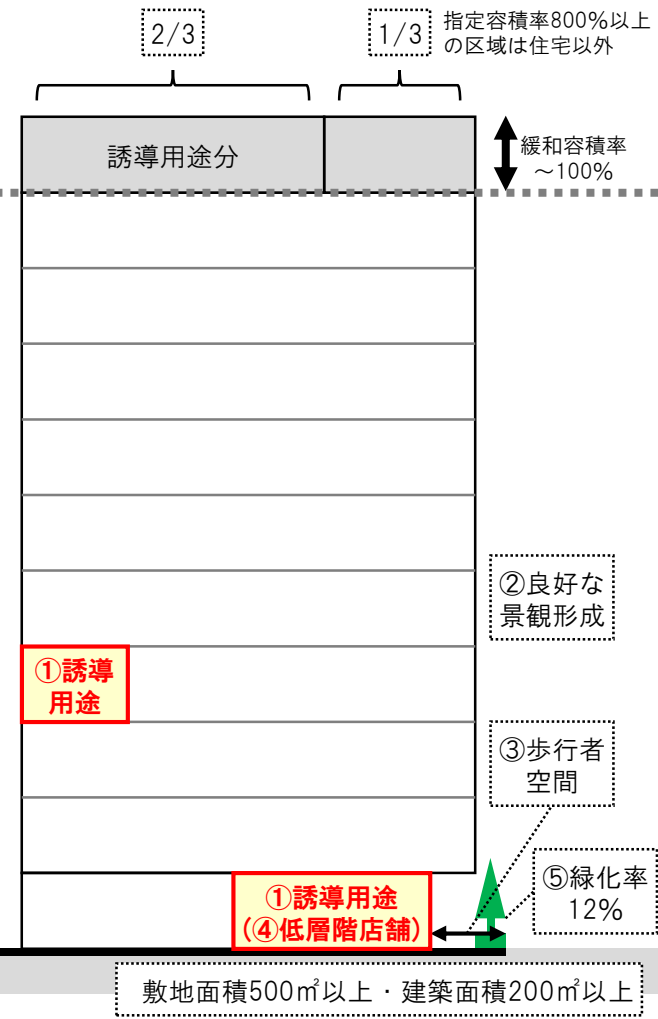
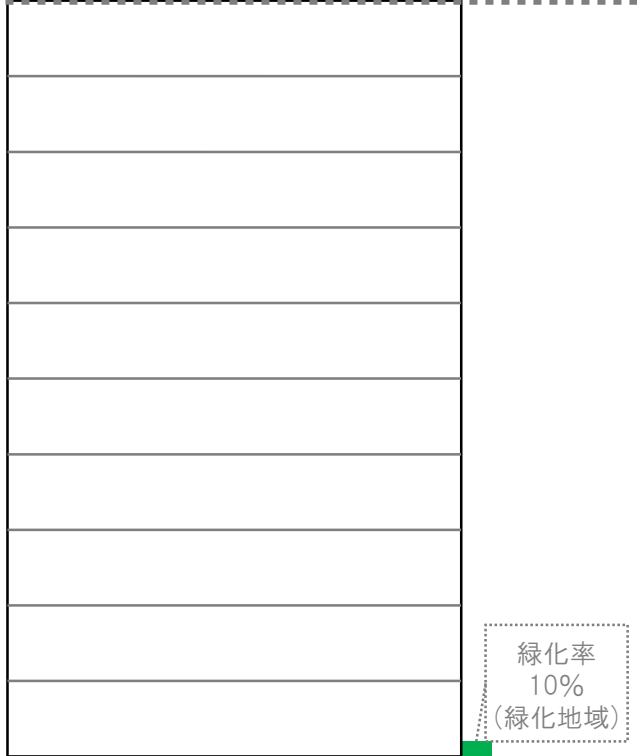
緩和容積率：0%

緩和容積率：～100%

緩和容積率：～200%

緩和容積率：～300%
指定容積率800%以上の区域は住宅以外

↓変更前の指定容積率（地区計画基準容積率）



※高度利用地区や特定街区、都市再生特別地区、総合設計などによる緩和容積率の算定においては変更前の指定容積率を基準とする。

誘導用途（図中の赤枠部分）
 ・文化交流施設：劇場、映画館、観覧場、演劇場、多目的ホール、博物館、美術館、図書館 など
 ・国際・産業交流施設：MICE施設、イノベーション施設、ハイグレードホテル、高品質オフィス など
 ・拠点的な医療施設：一般病床200床以上の病院
 ・まちの魅力や利便性の向上に資する施設：低層階店舗（1階）、エンターテインメント施設、地域コミュニティの拠点施設 など

公共貢献
 ・環境：緑化率20%以上、地域冷暖房の整備、CASBEE名古屋Sランクの取得 など
 ・防災：帰宅困難者対策、雨水流出抑制、耐震性の低い建物の建替え など
 ・交通：自転車駐車場の整備、地下街等のバリアフリー化（地下街接続など）、フリッジ駐車場の整備 など
 ・魅力：空地の整備、歴史的建造物の保全・修復・活用、敷地の集約化 など

主な要件

① 誘導用途 の整備（緩和分の2/3以上）	●	●	●
② 良好な景観形成（景観計画への適合）	●	●	●
③ 歩行者空間の整備（歩道と合わせ2m以上）	●	●	●
④ 低層階店舗化（広小路通・大津通・久屋大通沿道）	●	●	●
⑤ 緑化	12%以上	15%以上（又はNICE GREEN計画認定★★以上）	15%以上（又はNICE GREEN計画認定★★以上）
⑥ 退避施設の整備（敷地面積の5%以上）	—	●	●
⑦ 公共貢献 の実施	—	2項目※	4項目※

※点数化も検討